



共同代表: 島042-332-2647 深澤042-341-7524 e-mail: kodaira_kankyo@jcom.zaq.ne.jp

焼却炉とリサイクルセンターの建替え 疑問満載でスタート！

★ 今の焼却炉はあと6年半稼働、建て替えは約10年かかる！？

焼却施設の建て替えには10年ほどかかるとされています。現在の施設(中島町)は延命工事を経てあと6年半稼働となり、更新計画が急がれていましたが、ようやく基本計画が公表されました。

本年4月小平村山大和衛生組合(以下、小村大と略記)のホームページに「ごみ処理事業基本計画」が掲載されました。そこには、東大和市内に計画されPETボトルと容器包装プラスチック(略称、容リプラ)を対象とする3市共同資源物処理施設の稼働は2019年、現在、小村大の構内にある不燃・粗大ごみ処理施設は隣の市清掃事務所で更新されて2020年稼働とされている。これらに対して、焼却施設は同構内で2022年以降の早い時期に稼働とされています。

新しい焼却炉の稼働はいつになるか、まだ決められていません。また、「基本計画」は、市民だけでなく、市議会議員にも説明されていません。いったい何故でしょうか？

★ リサイクルセンター更新業務も今春スタート

小川東町のリサイクルセンターも老朽化して更新が必要となっています。5月9日にその整備計画についての説明会兼ワークショップ立ち上げ会が開かれました。

同センターでは現在、びん・缶・PETボトル・容リプラ(焼却されている軟質プラを除く)が回収されて中間処理(選別・圧縮・保管)されています。このうち、PETボトルと容リプラは3市共同資源物処理施設で処理されるので、残りの4品目と現在清掃事務所で処理されている白色トレイ・紙パック・有害資源(蛍光管・乾電池)が更新されるリサイクルセンターで処理されることになっています。

ワークショップは市民を募って7月、9月、12月の3回にわたって催されますが、整備計画素案は資源循環課に改称された担当課で10月に作成され、11月にパブコメ実施予定となっています。

いったい何のためのワークショップでしょうか？

★ 小平市はごみの戸別収集と有料化は2019年度に実施予定ーごみ減量はあと回し??ー

3市共同資源物処理施設に関しては、昨年1月から地域委員(周辺住民代表)と行政、小村大・3市担当課との協議が続いています。そこでは、どう言う訳か、3市共同資源物処理施設の新設⇒不燃・粗大ごみ処理施設更新⇒焼却施設更新のステップが必要と説く行政とごみ減量のトータルプランなしで共同施設は必要と言えるかと問う地域委員がせめぎ合っています。

有料化などごみ減量施策は後回しの行政と地域委員とは果たして合意に到るでしょうか？

なお、東大和市では昨年10月から有料化が実施されていますが、小平市と武蔵村山市ではまだです。(山脇)

目次

焼却炉とリサイクルセンターの建替え.....	1
生ごみリサイクル交流集会 in 多摩 2015.....	2
総会報告/映画「みつばちからのメッセージ」...	3
環境の会20年間の活動.....	4~5
電力自由化.....	6
ひだんれん(原発事故被害者団体連絡会).....	7
コラム「ピートンの青空教室」/編集後記.....	8